

水産物の市況について(令和6年4月及び令和6年5月)

—東京都中央卸売市場における令和6年4月(令和6年3月21日～令和6年4月20日集計)の市況と、
令和6年5月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和6年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からかなり増加で推移し、前年同月比ではやや増加で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや弱含みで推移し、前年同月比では横ばいで推移しました。

II 令和6年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ザケ主体に横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、産卵後の身質の低下から、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮品の東京への入荷量はやや増加するものの、全国的に水揚量が少ないことから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量は増加し、卸売価格は弱含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

東京への入荷量は増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	4月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
6年	30	1,403	25	1,490	26	1,502
前年	29	1,391	26	1,455	26	1,446

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	398	98	95	112
さけ類(平均)	1,247	107	108	126
(ぎんざけ塩蔵品)	1,298	110	110	131
(あきさけ塩蔵品)	917	112	89	126
(べにざけ塩蔵品)	1,496	113	100	111
(さけ類冷凍品)	1,233	107	109	127
さば(生鮮品)	534	91	95	131
するめいか(平均)	1,398	91	121	144
(生鮮品)	1,287	88	110	132
(冷凍品)	1,847	101	167	191
あじ(生鮮品)	537	83	80	98
まぐろ(冷凍品)	1,670	103	94	107
(めばち冷凍品)	1,162	100	95	104
(きはだ冷凍品)	827	87	71	77
(くろまぐろ冷凍品)	3,143	102	83	98
(みなみまぐろ冷凍品)	1,902	99	74	91
かつお(生鮮品)	932	92	133	131

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:4月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和元年～令和5年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、持原、山崎

直通 03-3591-5613